

## 運営推進会議開催報告書

開催日時 2019年12月23日(月) 13時30分～14時15分		
参加者	議題	
入居者	5名	(1) 利用者の状況報告
入居者家族	7名	(2) サービス状況報告
地域住民の代表者	2名	(3) 身体拘束に関する取り組みについて
市職員	1名	(4) 意見交換
地域包括支援センター職員	1名	(5) 連絡事項
事業所	7名	
会議録		
<p>(1) 入退居者数、稼働率等の報告 ※別紙参照</p> <p>(2) ・外出、レクリエーション、行事等の実績報告          ・ボランティア活動報告 ※別紙参照          →上期の反省を踏まえ、下期はより具体的な目標(数値化できるもの)を立てて取り組んでいる。</p> <p>(3) ・身体拘束実施状況報告(身体拘束ゼロを継続中)          ・ラシュレ樹の里における不適切ケアに関する取り組みの説明          →センサーマットと睡眠測定・見守り支援システムを導入している。コールの際に適切な対応ができるよう勉強会を行っている。</p> <p>(4)          ■地域包括ケアセンター職員：          Q. 防災訓練に使用した煙はどのようなものか。          A. 消防署が用意してくれたもので詳細は分からないが、人体には害のないものだと聞いている。          ■地域住民の代表A様：          Q. センサーマットと睡眠測定・見守り支援システムの使い分けは。          A. センサーマットは主に転倒防止に使用。後者はセンサー機能も付いているが、「睡眠状態」や「心拍・呼吸・体動」等をモニター、解析できるので、見守りの補助、またアセスメントツールとして活用している。          ■地域住民の代表A様：          Q. ユニット内の職員配置、協力体制などの基準はあるか。          A. ユニットケアの基準に則り運営しているが、トラブルや緊急時は臨機応変に対応している。</p> <p>(5) ・インフルエンザ警報発令に伴い施設内のマスク着用を義務化している。          ・職員の制服を導入。順次切り替えていく。</p>		